

## 厳島神社：甲冑と武具

厳島神社には、甲冑、かぶと、鞍、関連する馬具、他の武具の膨大なコレクションがあります。これらの品目の多さは、12世紀以降、厳島神社が武家のあいだで人気を博していたことで説明が付きます。強力なサムライは戦いの道具を宗教施設に寄進することが多かったからです。それには多くの理由がありました。祈りの効果性を向上させたり、幸運への感謝を示したり、信仰の度合いを実証したりするためでした。寄進された品目の全てが戦闘で使われていたわけではありません。純然たる装飾品もありました。寄進のために作られた品目です。遠い昔に獲得して代々受け継いだ家宝もあり、寄進の前は主に飾りまたは身分の象徴として所有されていました。後者の寄進は江戸時代（1603～1868年）に一般に行われました。世間は平和で、戦いの道具に対する実際的な必要が著しく低下したからです。